

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こぼんはうすさくら細谷教室		
○保護者評価実施期間	2024年12月9日		～ 2025年1月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34名	(回答者数) 32名
○従業者評価実施期間	2024年12月9日		～ 2024年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月27日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員間で支援内容についてよく話し合い、一人ひとりに合わせた活動を考えている	昼礼をはじめ、職員間での話し合いの機会を多く設けて、外活動の外先や内容、課題面、余暇活動などを実施している	曜日による集団性の違いなども考慮して、小グループとしての活動も充実できるよう話し合っていく
2	子どもたちがどの職員とも関わりやすい環境を作り、色々な人と関わりながら活動に参加することが出来る	特定の子ばかりに関わることを無いうように職員も意識して、子どもたちと接するように心がけ、外活動の小グループも担当をローテーションして支援にあたっている	活動ごとに職員一人一人が目的意識をもって子どもに関わることが出来るよう一人一人の支援内容を定期的に全体で確認していく
3	保護者から支援について共感を得られている	連絡帳や送迎時に保護者に子どもの様子を丁寧に伝え、不安や相談があったときには迅速に職員間で情報共有し対応している	活動中の子どもたちの良い面と課題となる面をしっかりと確認することが出来るように職員それぞれが意識して観察し、関わっていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	室内活動において、パーテーションやカーテン、時間配分などを有効活用して環境を整備していくことがまだ完全ではない	子どもたちの到着時間がそれぞれ違う中で学習をしている子どもと遊んだりおやつを食べている子どもが同じ場で活動していることがある	時間によってカーテン等で教室を分けて利用できるようにし、子どもの到着時間のタイムスケジュールもしっかり押さえたうえで教室内で利用する場所を分けていく
2	集団活動でのイベントが少ない。またはパターン化している	年齢や特性などの幅が広い集団で皆が楽しめるイベントを実施するのが難しい。特に平日に関しては利用時間もそれぞれ違うために時間を確保することも難しい	現在行っている外活動の時間での小グループを利用するなどして、リトミックや集団ゲーム等それぞれの集団でのプログラムを考えていく
3	家族に対する支援プログラム(ペアレント・トレーニング)などが取り入れられていない	職員全体での知識、経験の不足。	今後継続的に内部研修を行ったり、外部研修に参加するなどして家族への支援も積極的に行っていけるようにしていく